

令和3年度

# 病害虫発生予察特殊報(第1号)

令和3年11月25日  
神奈川県農業技術センター

病害虫名：バーティシリウム立枯病（仮称）（学名：*Verticillium dahliae* (Olivier)）

作物名：オリーブ

## 1 発生経過

令和3年2月、県内のオリーブ生産ほ場において、葉枯れが進行して落葉する立枯れ症状の発生を確認した（図1～3）。症状の見られた樹の主幹を切断したところ、導管周辺部に褐変症状が確認された（図4）。農林水産省横浜植物防疫所に同定依頼した結果、オリーブの病害としては国内未報告の *Verticillium dahliae* による病害と診断された。

## 2 病徴および発生生態

- 病徴として、葉が黄化後に褐変し、枝枯れ症状を生じる。その後、病徴が樹の片側または樹体全体に進展し、落葉する。生育が抑制され、枯死する場合もある。
- 発病が確認されたのは、野菜類を栽培した跡地に定植後3～6年の若木である。
- 発病した樹体の地際部に近い幹部を切断すると、導管周辺部が褐色に変色している。
- 感染経路は現在のところ不明であるが、*Verticillium dahliae* は野菜類の多犯性病原菌であり、発病した植物の残渣上に形成された微小菌核の形で、土壤中に長期間生存する。寄主植物の根が菌核の近くに伸びてくると、菌核は発芽して根に侵入し、導管内で増殖する。

## 3 防除対策

- 令和3年11月現在、本病に対する登録農薬はない。
- 発病した樹体は、伐根して残渣等をできるだけ残さないよう除去し、ほ場外に持ち出して適切に処分する。また、発病樹を伐根・除去した場所には定植しない。
- オリーブの当該病に対する感受性には品種間差があり、今回、症状が確認されたピクアルなどの品種は高感受性であることが報告されている（López-Escudero *et al* 2004）。したがって、本病の発生が懸念されるほ場ではピクアルやアルベキナなどの高感受性品種の作付けは避ける。
- 野菜類を栽培した跡地にオリーブを定植する際は本病の発生に十分注意する。

(参考文献)

López-Escudero, F. J., del Río, C., Caballero, J. M., and Blanco-López, M. A. 2004. Evaluation of olive cultivars for resistance to *Verticillium dahliae*. *Eur. J. Plant Pathol.* 110:79-85.



図1 オリーブの葉枯症状



図2 オリーブの立枯症状



図3 症状が進展した枝の落葉



図4 主幹断面に見られる導管周辺部の褐変症状

神奈川県農業技術センター 病害虫防除部  
〒259-1204 平塚市上吉沢1617  
TEL 0463-58-0333 FAX 0463-59-7411  
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/>